

ひたちなか市(ひたちなかし)

法人番号 7000020082210

	市章 〒 312-8501 〈住所〉ひたちなか市東石川二丁目10番1号 〈TEL〉029-273-0111 〈FAX〉029-275-0039 〈HP〉http://www.city.hitachinaka.lg.jp/ 〈e-mail〉soumu@city.hitachinaka.lg.jp	地域指定 都市開発	一部事務組合加入事業 火葬場・斎場 公共下水道 ごみ 消防 退職手当 消防費しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤 公務災害 市町村会館管理 滞納 処分等	公営企業 <small>※令和7年3月31日現在</small> 法適用(上水 公共下 水 特定環境下水 農 業集落排水) 法非適用(宅造 市場)
	類型 IV-3 地方公共 団体コード 082210 面積 101.02 km ²			

<行政組織>

①長等(令和7年5月1日現在)

長 おおたに あきら 大谷 明 (52歳)	任期 令和8年11月26日 就任回数 2期目
副市長 吉富 耕治	

②議会(令和7年5月1日現在)

議長 薄井 宏安	副議長 雨澤 正
任期 令和9年10月31日 党 派 別 自民2人、公明3人、共産1人、社民1人、立憲民主2人、国民民主3人、無所属13人	条例定数 25人 現議員数 25人

③職員数(令和6年4月1日現在)

全職員数 942	普通会計関係 791	うち一般行政関係 656	公営事業 会計関係 151
一般行政職の 平均給料月額 令和3年4月1日 935	3,141 百円 ラスパイレ ス指数 令和4年4月1日 934	97.6 地域手当 補正後 ラス指数 令和5年4月1日 935	97.6

④機構図(令和7年4月1日現在)

<市長>—<副市長>— 企 画 部—企画調整課、デジタル推進課 市 長 公 室—秘書課、広報広聴課 総 務 部—総務課、人事課、財政課、資産経営課、契約検査課、那珂湊支所 税務事務所—市民税課、資産税課、収税課 市民生活部—市民活動課、女性生活課、生活安全課、市民課、生涯学習課、 スポーツ振興課 保健福祉部—国保年金課、介護保険課、健康推進課 福祉事務所—地域福祉課、生活支援課、障害福祉課、高齢福祉課 子ども部 福祉事務所—子ども政策課、子ども未来課、幼児保育課 経済環境部—農政課、商工振興課、観光振興課、水産課、環境政策課、 廃棄物対策課 建 設 部—道路建設課、道路管理課、河川課、住宅課、下水道課 都市整備部—都市計画課、公園緑地課、建築指導課 区画整理事業所—区画整理事業課、区画整理一課、区画整理二課、 那珂湊地区土地区画整理事務所 <会計管理者>—会計課 <水道事業管理者>—水道事業所—総務課、業務課、工務課 <教育委員会>—教育長—教育部長— 総務課、学校管理課、保健給食課、指導課、青少年課、中央図書館 <議会> 議会事務局 <行政委員会> 農業委員会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会、公平委員会、 固定資産評価審査委員会

<概要>

①沿革

平成6年11月1日 合併 那珂湊市 勝田市

②地勢・風土等

茨城県中央の東部に広がる平坦な台地上に位置し、東は太平洋に面し、海岸線がおおよそ13km続いている。
 現在、市の東部では、北関東の総合的な発展を先導する重要なプロジェクトであるひたちなか地区開発が進められている。
 この開発では、北関東地域の中核国際港湾である茨城港常陸那珂港区や国営ひたち海浜公園等の整備が進められており、21世紀に飛躍する「国際港湾公園都市」の実現をめざしている。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (令和7年4月1日)	
	平成22年	平成27年	令和2年		
人口	男	79,046	78,270	79,293	77,211
	女	78,014	77,419	77,288	75,309
	合計	157,060	155,689	156,581	152,520
世帯数	60,268	61,104	66,754	69,283	

④有権者数(令和7年3月3日現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 27.0%
	65,294	64,686	129,980	

<産業・経済>

①生産・所得(令和4年度)

市町村内 総生産	7,860 億円 住民所得 5,368 億円 人口1人当り住民所得 3,463 千円
-------------	--

②産業構造

区分	総生産額(令和4年度)	就業人口(令和2年国調)
第1次	3,630 0.5%	1,614 2.2%
第2次	425,192 54.1%	22,391 31.0%
第3次	349,163 44.4%	48,232 66.8%
総額・総数	786,039 —	72,237 —

③農業・工業・商業

農業 (令和2年2月1日)	農家数 1,459	主業農家数 232	農業就業人口 2,009
製造業 (令和5年6月1日)	事業所数 217	従業者数 23,040	製造品出荷額等 (R4.1.1~12.31) 1,128,430
卸・小売業 (令和4年6月1日)	事業所数 1,136	従業者数 10,531	年間販売額 (R3.1.1~12.31) 307,221

④特産物

電機・機械製品、水産物、水産加工物、干しいも

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	令和4年度決算	令和5年度決算	増減率
歳入	62,464,135	65,173,789	4.3
歳出	58,613,335	62,499,295	6.6
形式収支	3,850,800	2,674,494	-
実質収支	3,209,303	2,088,641	-
単年度収支	△ 51,243	△ 1,120,662	-
実質単年度収支	△ 51,202	△ 1,468,673	-

②主な歳入・歳出(令和5年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	65,174	-	2,710	4.3
地方税	26,282	40.3	757	3.0
地方交付税	3,692	5.7	△ 241	△ 6.1
国庫支出金	12,099	18.6	△ 561	△ 4.4
地方債	5,302	8.1	1,778	50.5
うち臨財債	240	0.4	△ 429	△ 64.1
その他	17,799	27.3	977	5.8
うち繰入金	1,066	1.6	916	610.7
歳出	62,499	-	3,886	6.6
義務的経費	29,951	48.0	1,154	4.0
人件費	8,233	13.2	283	3.6
扶助費	15,419	24.7	645	4.4
公債費	6,299	10.1	226	3.7
投資的経費	8,370	13.4	2,349	39.0
普通建設事業費	8,370	13.4	2,349	39.0
うち補助	4,200	6.7	1,130	36.8
うち単独	4,088	6.5	1,160	39.6
その他の経費	24,178	38.6	383	1.6
うち繰出金	6,757	10.8	151	2.3

③主要指標(令和5年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % (11.71)
連結実質赤字比率	- % (16.71)
実質公債費比率	11.2 % (25.0) [6.6]
将来負担比率	74.0 % (350.0) [23.3]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(令和6年度)	0.901	[0.670]
経常収支比率	97.5 %	[92.6]
標準財政規模(令和6年度)	32,918	百万円 [16,772]
地方債現在高(A)	61,704	百万円 [25,447]
債務負担行為支出予定額(B)	7,616	百万円 [4,978]
積立金現在高(C)	11,550	百万円 [7,929]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	57,770	百万円 [22,496]

※1 ()は早期健全化基準、[]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(令和5年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 []は県平均値
市町村民税・個人(構成比)	10,123,658 (38.2)	10,001,708 (38.1)	98.8 [97.2]
市町村民税・法人(構成比)	2,510,211 (9.5)	2,501,717 (9.5)	99.7 [98.6]
固定資産税(構成比)	10,508,303 (39.6)	10,421,645 (39.7)	99.2 [97.3]
市町村税合計(国保除く)	26,525,029	26,282,165	99.1 [97.4]

<公共施設整備状況>(令和5年度)

※1は令和6年度道路改良率・舗装率は令和4年度

小学校 ※1	17 校	体育館	3 か所
中学校 ※1	7 校	プール	3 か所
義務教育学校 ※1	1 校	児童館	1 か所
幼稚園 ※1	10 園	老人福祉施設	86 か所
保育所 ※1	23 か所	病院・一般診療所	99 か所
認定こども園 ※1	0 園	道路改良率	61.3 %
図書館	4 か所	道路舗装率	79.4 %
公営住宅	1,706 戸	上水道等普及率	97.9 %
公民館等	1 か所	汚水処理普及率	92.5 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算事業費
ひたちなか海浜鉄道湊線延伸事業	H30 ~	ひたちなか海浜鉄道が実施する湊線延伸について、関係機関との協議・調整や事業実施に係る取組の支援を行う。	12,641
中丸川流域における浸水被害軽減プラン事業	R1 ~ R10	集中豪雨に備え、床上・床下浸水被害が発生するおそれのある地区に対し、行政と企業と住民が一体となった総合的な治水対策を行う。	15,480
マーケティング推進事業(移住・定住、プロモーション等)	R1 ~	マーケティングを行いながら、「まちのファン」を増やし、新たなまちの価値の共創・発信につなげる。	59 (R7)
中心市街地活性化推進事業	R6 ~ R10	官民連携のまちづくりに取り組み、シビックプライドを高めるまちづくりを推進するとともに、新たなまちのシンボルとなる拠点等の整備を行うことで、居心地が良い「まちなか」へ改善を図る。	4,841
第4次総合計画策定	R6 ~ R7	市民ワークショップを実施するなど、多様な市民が計画策定に関わる機会を設け、市民がまちづくりへの参加意欲を高める契機とする。	32

②今後の主要課題・特色ある行政等

<主要課題>

- ・人口減少、少子高齢化への対応
- ・社会経済情勢の変化を捉えたまちづくり
- ・行政資源の効率的な投入
- ・人口減少時代を見据えたまちづくり
- ・人と人とがつながるまちづくり

<特色ある行政>

- ・安定ヨウ素剤の事前配布
- ・公共交通の利用が困難な方に対する買い物等送迎事業の支援
- ・様々なニーズに対応した子どもの遊び場や居場所づくり
- ・お土産品開発や市内での宿泊促進に向けた取組の支援
- ・ひたちなか海浜鉄道湊線の運行支援及び延伸に向けた取組
- ・コミュニティ組織や自治会の活動・運営支援
- ・マーケティングによるニーズや課題の抽出、施策への反映